

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 55》2017年9月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【九重町／玖珠町】



(九重町)  
九重“夢”大吊橋



(九重町)  
八丁原発電所



(玖珠町)  
旧豊後森機関庫

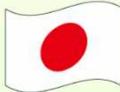


(玖珠町)  
慈恩の滝

## 大分に2つの国際友好協会が設立されました



### 大分日米協会



8月2日、大分市内で大分日米協会の設立総会が開催されました。

大分県では近年、留学や姉妹都市交流を始めとする民間交流だけにとどまらず、海外との貿易や市場開拓等、アメリカとの関係をもつ企業も多くなってきました。また、2015年に開催された「日米草の根サミットおおいた大会」の成功を受け、地域としてもアメリカと幅広い交流を進めるべきであるとの声が高まってきました。このような背景から、大分日米協会は、行政、経済界、大学、企業等の関係者が発起人となって、大分県域では初めての日米協会として設立されました。

記念講演では在福岡米国領事館のジョイ・ミチコ・サクライ首席領事が、領事館の紹介やアメリカと日本及び大分との関係について講演を行いました。

会長に就任した大分商工会議所の姫野会頭は「大分県は貿易や市場開拓でアメリカと関係を持つ企業も多い。誰もが集う場にしたい」と抱負を述べました。



### 大分カメルーン共和国友好協会



8月4日に、大分カメルーン共和国友好協会の設立総会が開催されました。同協会は、カメルーンでのバイオトイレ（水の代わりに微生物を使用したトイレ）の普及を目指す、TMT. Japan社（大分市・横山朋樹代表）が中心となり設立されました。設立総会には、カメルーン共和国レイモンド・カムガ臨時大使も参加され、「2002年サッカーワールドカップから始まった中津江村とカメルーンの交流が協会の設立にまで発展し、非常に嬉しく思う」とあいさつされました。会長に就任した横山さんは、「今後は、カメルーン文化の紹介やカメルーンへの訪問など、精力的に活動していきたい」と話していました。



## 国際七夕フェスタ2017が開催されました

外国人との交流の機会の一環として、おおいた七夕まつりに併せて「国際七夕フェスタ2017」を開催しました。例年、民族衣装を着てのパレードとパフォーマンスで、広く興味を持ってもらう機会になっています。

今年も8月5日の夜にアジア圏を中心に5か国にルーツを持つ約80名の方々が母国の民族衣装を着て参加してくれました。台風が近づく中でしたが、久しぶりにお祭りに参加したという方もいて楽しい時間となりました。

また今年も、大分-カメルーン共和国友好協会が設立されるということで「国際理解講座」の開催、「カメルーンブース」「中津江ブース」を設置し、カメルーンのこと、そして大分との関係性について知ってもらう機会となりました。展示を見てくれる人の中には興味を持ち、スタッフに声をかけてくれる人もいました。カメルーンより臨時大使が来県し、国際理解講座やパレード、パフォーマンスに参加してくれたことも今年ならではです。これからもお互いに正しく相手を知る機会を企画していきます。

【おおいた国際交流プラザ】



## 新しい国際交流員が来県しました



**Sarah Backley (セーラ・バックレイ)さん**

【出身地: 英国 配属先: 大分県ラグビーワールドカップ2019推進室】



はじめまして！セーラ・バックレイと申します。イギリスのハートフォードシャーから参りました。8月から大分県庁のラグビーワールドカップ2019推進室で国際交流員として働き始めました。ラグビーについてはまだあまり詳しくないですが、大分と2019年のラグビーワールドカップに参加する国々との架け橋になりたいと思っています。

私はロンドンとエジンバラで育ち、2015年に慶應大学に留学しました。より小さな町に住んでみたいと思い、大分にやってきました。もうすでに、さらに素敵なお国を経験しており、大分での生活を始めることにワクワクしています。よろしくお願いいたします。



**Elena Adaschewski (エレナ・アダシェフスキ)さん**

【出身地: ドイツ 配属先: 竹田市商工観光課】

はじめまして、26歳、ドイツのハンブルク市の出身、エレナと申します。トリア大学を日本学を専門として卒業しました。そして、一年間島根大学で留学した経験もあり、いい思い出ばかりなので、またいつか日本に戻りたいと思っていました。特に九州の郊外か田舎が希望だったので、本当に自然に囲まれている竹田市に着任することが、大変嬉しかったです。ただし、クモが心配です。

さらに、皆様の優しさで、早く新しい生活に慣れることができます。これから私もCIRとして頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



## 平成29年度小中学生イングリッシュ・キャンプ

大分県教育委員会は、平成26年10月に策定した「グローバル人材育成推進プラン」において、グローバル人材に求められる資質・能力として①挑戦意欲と責任感・使命感 ②多様性を受け入れ協働する力 ③大分県や日本への深い理解 ④知識・教養に基づき、論理的に考える力 ⑤英語力（語学力）の5つの力の「総合力」が必要であると定め、さまざまな取組を進めています。

その取組の一つとして、平成27年度より、小学校及び義務教育学校前期課程5・6年生と、中学校1・2年生及び義務教育学校後期課程7・8年生を対象に、イングリッシュ・キャンプを実施しています。  
【高校教育課】

### 中学生イングリッシュ・キャンプ(7月29日～31日)

平成29年度中学生イングリッシュ・キャンプを、2泊3日の日程で九重青少年の家(九重町)において開催しました。

県内中学生64名は、ALT13名と活動を行いました。

このキャンプでは、

- ①Use(英語を使おう)
- ②Listen(しっかり聞こう)
- ③Talk(話しかけよう)

の3点に気を付けて、生活しました。

さまざまな活動や体験を通して、英語学習への意欲を高め、外部検定試験への挑戦意欲を示す生徒も多く見られました。

【義務教育課】



## トビタテ！留学JAPAN 地域人材コース 知事表敬

官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN」の大分県地域グローバル人材コースは、留学を通じて、産業界を中心に社会で求められる人材、世界を視野に入れて活躍できる人材を育成することを目的としています。

今年度も県内から6名の派遣留学生在が選ばれ、8月3日に知事への表敬訪問と事前オリエンテーション、壮行会を行いました。知事への表敬訪問では、「米国のシリコンバレーで最先端の半導体技術に触れ、大分県農業のIT化に生かしたい」という大分大学生を始め、各留学生在が留学計画を発表し、知事から激励を受けました。留學生は県内支援企業で事前インターンシップを行った後、8月中旬以降に順次、米国、イタリア、オーストラリア、ネパール、カンボジアと各自の留学先へと飛び立ちます。





**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（8月）



## 【8月4日（金）～6日（日）】大分七夕まつり

大分市の夏の風物詩「第36回大分七夕まつり」が4日に開幕し、中央通りの一帯で府内戦紙がありました。ライトアップした山車21台、総勢約5千人の踊りがまつりの初日を盛り上げました。最終日の6日に予定されていた大分合同新聞花火大会は、台風5号の接近により27日（日）に延期されました。



## 【8月20日（日）】高校野球 明豊高校がベスト8



第99回全国高校野球選手権大会にて、大分県代表の明豊高校が熱戦の結果、ベスト8という好成績を収めました。20日に甲子園球場にて行われた準々決勝では、明豊高校は奈良の天理高校と対戦しましたが、9-13という結果で惜しくも敗退しました。驚異的な粘りや打線、また選手たちのひたむきな姿は多くの感動を呼び、大分県を元気づけてくれました。



## 【8月29日（火）】オスプレイが大分空港に緊急着陸

29日に米軍の新型輸送機オスプレイ1期が大分空港に緊急着陸しました。岩国基地（山口県）から普天間飛行場（沖縄県）に向かう途中だったとみられています。エンジントラブルによる緊急着陸ということですが、火災やけが人はありませんでした。

※国際政策課にて新聞等を元に作成



## 中国湖北省研修員 ♪大分体験記♪

### 第1回 私が体験した津久見扇子踊り

19日の夜に、県庁の同僚と津久見市へ扇子踊りのお祭りに行きました。はじめてのお祭りなので、わくわくしていました。津久見扇子踊りは450年の歴史を持ち、最初は大友宗麟の時代の戦争で亡くなった方のために作った踊りであり、今では重要な郷土芸術になりました。踊りの発展とともに、京都の扇子踊りをはじめ、様々な地域の伝統踊りと融合し、ようやく今の形になりました。日本の伝統的な踊りの背景として必ず物語があると聞いたのですが、扇子踊りを踊る際、まるで先人の時代に遡るように思い、日本文化を体験しようとする方に最適です。

お祭りでは、扇子踊りのほか、学生の合唱団と演奏部のパフォーマンスも鑑賞しました。楽器の演奏をしながら、分列したり踊ったりし、素晴らしい技に実に驚かされました。それを見ると、日本の教育に感心し、勉強と遊びの両立の仕方を他国も勉強すべきだと思います。

今回の扇子踊りの体験は私にとって忘れられない大切な思い出になりました。きれいな着物を着て、素晴らしいパフォーマンスに参加し、新しい日本および大分を発見しました。これからの研修生活ではまたこのようなチャンスを見つけて、日本文化への理解をどんどん深めたいと思います。



湖北省研修員  
戴立君（ダイリクケン）さん

# From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



シェリダン・ミキシック  
(Sheridan McKisick)  
県国際交流員  
米国  
[pu1014001@pref.oita.jp](mailto:pu1014001@pref.oita.jp)

佐伯市で開催された高校生英語夏季セミナーに参加しました。英語に興味がある若者と  
いろいろな面白い話ができたり大分の将来を担う人材に会う良い機会でした。また、佐伯  
の海を見ることもできました。セミナー会場の隣のビーチで、アイスを食べながらビーチを  
散歩しました。

ビーチの散歩も良かったけれど、一番良かったのは私の  
「グループ・リーダー」という役割でした。私のグループでは  
生徒さんが10人いました。セミナーが始まったばかりのとき  
は、みんながシャイでしたが、だんだん元気になっていきま  
した。セミナーの活動のおかげで、学生は英語の勉強とと  
もに友達もできたと思います。閉会式で、生徒さんから心  
がこもった色紙をもらって泣くほど感動させられました。とて  
も印象的な3日間でした。



金 眞雅  
(Kim Jina)  
県国際交流員  
韓国  
[pu101502@pref.oita.jp](mailto:pu101502@pref.oita.jp)

深島って知っていますか？大分県最南端にある島で、住民よりネコの方が多くてネコ島  
とも呼ばれています。蒲江港から「えばあぐりいん」に乗って30分、深島に着いたら、かわ  
いいネコたちが出迎えてくれます。目の前に広がる青い海と空が絶景で、島に着いただけ  
で癒されます。

深島は釣り以外に、シュノーケリングやシーカヤックなど  
のマリンスポーツもできます。私も早速器材を借りて海に  
潜りました。珊瑚の周りに青い魚がたくさんいて、いくら泳  
いでいても飽きませんでした。また、観光客が少なく、  
ビーチをほぼ貸切の状態を楽しめました。夏休みだど  
こも人でいっぱいですが、ここは人も少なく、ゆったりのん  
びりとした穏やかな時間を過ごすことができました。



張 鵬  
(Zhang Peng)  
県国際交流員  
中国  
[Pu1014006@pref.oita.jp](mailto:Pu1014006@pref.oita.jp)

花火は夏の風物詩とよく言われています。大分の夏で一番盛り上がる花火大会は「大分  
合同新聞花火大会」だと聞いて、大分に来てからずっと期待していました。例年の花火  
大会は「大分七夕祭り」と時期を合わせて行っていますが、今年の8月上旬は大雨が続  
いていて、台風も来たことから、延期になりました。2週間も待ってから、やっと27日に花  
火を見ることができました。

私は健康維持のため、ほぼ毎日大分川をジョギングして  
います。普段、夕食後に来たら、あまり人出が見られませ  
んでしたが、花火当日の人混みに驚きました。花火打ち上  
げの真正面に座って鑑賞したかったのですが、結局みんな  
ぎっしり集まって、立つのもちょっときつい状態で見終わりました。音楽を聴きながら花火を鑑賞するのはとてもいい体  
験で、最後の「美女と野獣」を聞くと、まるでディズニーラ  
ンドのワンス・アポン・ア・タイムが再生するように思いました。  
花火が終わって秋もそろそろやってきますので、また一緒  
に素晴らしい旅に立ちましょ。



## ～編集後記～

「大分日米協会」及び「大分カメルーン友好協会」の2つの  
友好協会が、8月にできました。アメリカ、カメルーンとも、こ  
れまでの交流活動が実を結び、県全体の友好協会として  
発足したものです。9月から11月にかけて、両協会の会員  
がそれぞれの国を親善訪問することも予定されていますの  
で、これから交流の輪が広がるのが期待されます。活動  
の様子は「What's up, OITA!」でも紹介したいと思います。

(国際政策課長 徳野 満)

## ☑ 話題提供のお願い!



県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中  
の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!

(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野

【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

バックナンバーはこちら

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>